

第1章 後期計画の策定に当たって

1 「伯耆の国よなご文化創造計画」の位置付けについて

「伯耆の国よなご文化創造計画」は、米子市・淀江町合併協議会により平成16年に策定された「米子市・淀江町 新市まちづくり計画」において重点プロジェクトとして取り組むことが掲げられました。

このプロジェクトのテーマは、「伯耆の国よなご歴史・文化ネットワークの構築」であり、主たる内容は、文化関係の拠点施設をネットワーク化し、各施設の情報を随時閲覧、情報発信、公開することで、市民や来訪者、研究者等の多様なニーズに応えようとするものでした。

また、この取組の前提として、文化関係施設の整備・充実等が掲げられていました。

2 「伯耆の国よなご文化創造計画（前期計画）」について

上記の位置付けを受け、本市では、平成19年3月に「伯耆の国よなご文化創造計画」を策定しました。

事業期間は15年間とし、具体的なスケジュールについては、前期（平成17年度から平成24年度まで）と後期（平成25年度から平成31年度まで）に分けて策定することとし、平成19年の段階で策定した当該計画（以下「前期計画」と言います。）では、前期のスケジュールのみを掲げることにしました。

3 「伯耆の国よなご文化創造計画（後期計画）」の策定

前期計画では、その基本理念について次のように記述しています。

「文化創造計画は、市民と行政の協働により、米子の歴史文化を見直し、育み、将来に向けて継承していくとともに、芸術文化をはじめ様々な文化活動を支援し、新たな文化の創造に向けた環境づくりと文化の発信拠点となることを目指します。

このことは、一人一人の市民が日々の暮らしの中でよなごの文化に触れ、豊かな心を育み、ゆとりや安らぎを実感することのできるまちを実現させていくものでなければなりません。」

後期のスケジュールの策定に当たっては、この理念を念頭に置きつつ、前期計画の進捗状況や情報化の進展などの情勢変化を踏まえた上で、推進すべき施策・事業の内容を検討することとしました。

その結果、改めて基本方針等を整理し、「伯耆の国よなご文化創造計画(後期計画)」(以下「後期計画」と言います。)を策定することとしたものです。

第2章 前期計画の評価

1 事業の実施状況

主要施策・事業		実施状況
1 歴史的文化の掘り起こし事業		
①	よなごの宝88選選定事業	A
2 文化活動の促進支援事業		
①	88フォトモール米子の景観88選選定事業	A
3 文化創造計画人づくり事業		
①	よなごの宝88探宝会・よなごの宝を語る会	A
4 文化施設等の整備事業		
①	山陰歴史館整備事業	C
②	美術館整備事業	B
③	図書館整備事業	B
④	埋蔵文化財センター整備事業	A
⑤	伯耆古代の丘整備事業(史跡上淀廃寺跡整備事業)	A
5 歴史的資料の整理とデジタル化事業		
①	歴史的資料の整理とデジタル化事業	A
6 文化情報ネットワークの構築事業		
①	文化情報ネットワークの構築事業	B

A・・・概ね実施できたもの

B・・・実施中のもの

C・・・未実施のもの

2 事業の成果

(1) よなごの宝 88 選選定事業 (別紙総括票 1 -)

地域に埋もれている史跡などの歴史的資産を掘り起こし、保護・活用を図るため、その中から代表的なものを「よなごの宝」として選定し、平成 21 年度に冊子を作成、配布しました。

(2) 88 フォトモール米子の景観 88 選選定事業 (別紙総括票 2 -)

市内の景観を対象とした写真を公募し、平成 19 年度から 4 回にわたりそれらの作品による写真展を商店街等で開催し、市民がよなごの良さを再認識する機会を提供しました。

また、平成 20 年度には、それらの応募作品の中から「よなごの景観 88 選」を選考し、入選作による展覧会を開催するとともに、平成 21 年度には写真集を刊行しました。

(3) よなごの宝 88 探宝会・よなごの宝を語る会 (別紙総括票 3 -)

「よなごの宝 88 選選定事業」で選定された「よなごの宝」について、平成 22 年度から現地の探訪を月 1 回開催するとともに、講座や座談会を隔月で開催しました。

(4) 山陰歴史館整備事業 (別紙総括票 4 -)

山陰歴史館の整備については、より活用される施設となるよう、施設機能の在り方を含めた検討を行うこととしたため、前期においては未実施となりました。

(5) 美術館整備事業 (別紙総括票 4 -)、図書館整備事業 (同 4 -)

米子市美術館については、バリアフリー化、展示パーテーションの改善、収蔵庫の拡張など、米子市立図書館については、施設を増床し、開架スペースや書庫の拡充をはじめとする機能充実を図ることとし、それぞれ市民の意見を反映するよう努めながら基本設計及び実施設計を進め、平成 24 年 5 月に両施設の整備工事に着手しました。

(6) 埋蔵文化財センター整備事業 (別紙総括票 4 -)

旧日新小学校校舎を活用し、埋蔵文化財の保管・保存、公開、調査・研究等の機能を持つ埋蔵文化財センターを整備し、平成 22 年 4 月に供用を開始しました。

(7) 伯耆古代の丘整備事業 (別紙総括票 4 -)

史跡上淀廃寺跡の整備を実施し、地形復元等を行いました。また、そのガイダンス施設を淀江歴史民俗資料館に整備することとし、施設全体を「上淀白鳳の丘展示館」と改称して平成 23 年 4 月にオープンしました。

(8) 歴史的文化資料の整理とデジタル化事業 (別紙総括票 5 -)

山陰歴史館、旧淀江歴史民俗資料館 (上淀白鳳の丘展示館)、福市考古資料館等が保有する資料について、整理・記録、デジタル化を進めました。

(9) 文化情報ネットワークの構築事業 (別紙総括票 6 -)

この事業は、文化関係の拠点施設をネットワーク化し、各施設の情報を随時に閲覧、情報発信、公開するものですが、その前提として、まず、文化関係施設の整備・充実等を図ることとしていたため、文化関連イベント情報の発信や文化関係施設のホームページとリンクした「米子市文化情報 Web」のメニューを追加するにとどまりました。

また、インターネットによる情報化の進展により、専用の情報提供システムを構築することが、幅広い情報の利用者から見た場合、必ずしも利用しやすいとは言えなくなっています。

既に、本市のホームページでは、リンクにより各施設の情報に容易にアクセスできるよう整備していることから、この事業については内容を見直していくことが必要と考えています。

3 前期計画の総括について

前期計画の推進状況については、一部に事業着手が遅れたものや未実施のものもありますが、文化施設の整備事業などの実施により、将来にわたる市民の文化活動に大きく寄与する進展があったと考えています。

今後は、未実施の事業や新規に取り組むべき事業について、その方向性や妥当性を検証しながら適切に対応していくことが必要です。

また、これまでに整備してきた文化施設の利活用を図るとともに、文化活動について市民の関心を深め参加を促す観点から、人材育成を念頭においたソフト事業の充実についても努めていく必要があります。

第3章 伯耆の国よなご文化創造計画（後期計画）

1 計画の推進に向けた基本方針及び主要施策

後期計画においては、前期計画の進捗状況等を踏まえ、本市の文化振興に不可欠な環境整備を計画的に推進するため、次のように基本方針及び主要施策を設定するものとします。

（1）文化活動・人材育成の推進

歴史・文化資産の活用
文化芸術活動への支援
文化芸術に親しむ機会の提供

（2）文化施設の整備・活用

文化芸術施設の整備・活用
歴史関連施設の整備・活用

（3）文化情報ネットワークの充実

文化関係情報の充実
ネットワーク機能の充実

2 施策・事業の実施

主要施策ごとに、以下の施策・事業を実施します。

（1）文化活動・人材育成の推進

文化団体、市民団体の活動や団体間交流を支援するとともに、児童・生徒を始め市民が文化芸術に触れる機会を提供することにより、人材育成に努め、文化のまちづくりを推進します。

歴史・文化資産の活用

施策・事業名	事業概要	関係課
歴史的文化（よなごの宝）掘り起こし事業	よなごの宝88選選定事業により、地域から掘り起こした「よなごの宝」を広く市民に伝えるとともに、新たな宝を掘り起こすことにより、地域文化の振興に役立っています。	文化課

地域の歴史・文化探訪	市内にある歴史・文化資産をめぐる散策ルート・サイクリングルートの策定、現地ガイドの充実などにより、これら地域資源のPRと活用を図りながら、市民、来訪者に地域の歴史・文化に親しむ機会を提供します。	文化課
無形文化財の保存・伝承	「米子盆踊り」「日吉神社神幸神事」などの無形民俗文化財や「弓浜緋」「淀江傘伝承技術」などの無形文化財に対する活動支援を行うことによって保存・伝承を図るとともに、伝統的な行事、芸能、技術の普及、育成に努めます。	文化課 商工課

※ よなごの宝88選選定事業

伯耆の国よなご文化創造計画のソフト事業の一つで、よなごの宝88選実行委員会により、地域に埋もれている歴史的文化(よなごの宝)の掘り起こしと保存、継承及びこれら「よなごの宝」を活用した人づくり・まちづくりを推進することを目的とするもの。

文化芸術活動への支援

施策・事業名	事業概要	関係課
多様な文化活動への支援	米子市音楽祭や秋の文化祭の開催など、市民に多様な文化芸術活動の発表の場を提供します。	文化課
米子市文化奨励賞贈呈事業	地元文化の振興に貢献した個人・団体を選考し、米子市文化奨励賞を贈呈するとともに、受賞者を米子市ホームページ等で公表しその活動を紹介することにより、文化活動に取り組む市民の意識高揚を図ります。	文化課

文化芸術に親しむ機会の提供

施策・事業名	事業概要	関係課
芸術文化に親しむ機会の提供	公会堂、文化ホール、淀江文化センターにおけるイベント等の開催、美術館における展覧会の開催、その他出前講座の開催など、市民が優れた芸術文化を鑑賞できる機会の充実を図るとともに、芸術文化に関する積極的な情報提供を行います。	文化課
学校公演事業	子どもたちに国内外で活躍する優れた芸術（舞台オーケストラ・民族音楽など）の鑑賞や、その芸術文化団体等に実技指導を受けるなど、芸術に触れる機会を提供することにより、芸術を愛する心を育てるなど将来への可能性を育むことに努めます。	文化課 学校教育課
芸術活動支援事業	未就学児を対象に、アートスタートの機会を提供する団体やアーティストと連携して芸術文化をいかした事業を実施する団体に補助金を交付することにより、芸術文化を支えていくことのできる人材育成と文化を通じた地域づくりに努めます。	文化課
多様な文化芸術による地域の活性化への取組	漫画やアニメといったポップカルチャー等、多種多様な文化芸術イベントの開催支援や市民への情報提供を行うことにより、メディア芸術の振興に努めます。	文化課 観光課
児童文化センター運営事業	児童文化センターにおいて、子どもたちに遊びや文化活動の機会を提供します。	生涯学習課
子ども会活動を通じた文化伝承者の育成	子ども会などを対象に「田植え歌」「銭太鼓」などの郷土芸能や「方言」「浜かすり」「いただきの作り方」などの指導を通じ、子どもたちを地域文化の伝承者として育成します。	生涯学習課
ひとづくり・まちづくり推進事業	地域の世代間交流や人材育成を目的として地域住民が主体となって取り組んでいる「ひとづくり・まちづくり推進事業」を実施する中で、地域の伝統や地域文化の伝承者の育成に努めます。	生涯学習課

<p>図書館の地域資料を活用した子ども講座の開催</p>	<p>地域関係資料、行政資料及び特設文庫室の資料を活用するとともに、図書館の「伯耆民話の会」「古文書を楽しむ会」による子ども向け講座を開催することなどにより、子どもたちによなごの文化に触れる機会を提供します。</p>	<p>生涯学習課</p>
<p>史跡等を活用した学校教育の取組</p>	<p>上淀白鳳の丘展示館、埋蔵文化財センター、福市考古資料館、山陰歴史館などの施設を子どもたちが見学する機会を拡充し、古代文化や米子の歴史について理解を深めるなど学習に役立てます。</p> <p>また、埋蔵文化財センターが行う出前授業等を活用し、弥生時代後期から古墳時代中期の学習に役立てます。</p>	<p>学校教育課</p>

(2) 文化施設の整備・活用

文化施設が市民により親しまれ、利用されるよう、老朽化した文化施設の改修事業を実施するなど、整備を進めます。

淀江町福岡地区の伯耆古代の丘の上淀麿寺跡、向山古墳群などの史跡や山陰歴史館などの歴史関連施設の整備を実施します。

文化芸術施設の整備・活用

施策・事業名	事業概要	関係課
美術館整備事業	<p>利用者の安全確保と機能性・利便性向上を図るため、バリアフリーへの対応、展示用パーティションの改善、収蔵庫の拡張、喫茶スペースの設置などの改修工事を推進。</p> <p>平成25年8月のリニューアルオープン後は、市民が優れた芸術文化に触れる場として、また、市民ギャラリーとして、より快適に利用できる施設とします。</p>	文化課
図書館整備事業	<p>利用者の安全確保と機能性・利便性向上を図るため、耐震補強・バリアフリー化・開架スペースの拡大等の改修工事を推進。</p> <p>平成25年8月のリニューアルオープン後は、自動貸出機の設置、開館時間の延長などの利用者向けサービス提供の充実や図書、記録、視聴覚資料等の充実を図ることにより、市民の文化的教養を高めるための環境整備に努め、情報文化の発信拠点としての機能充実を図ります。</p>	生涯学習課
公会堂整備事業	<p>市民に長く愛される施設として安全性の確保、設備の充実など、施設機能の向上を図るため、耐震補強及び大規模改修工事を進めます。</p> <p>平成26年3月のリニューアルオープン後は、ホール機能の向上に加え、前庭・ホワイエの単独利用、会議室の分割使用も可能とするなど、市民の文化芸術活動の拠点として、より活用しやすい施設とします。</p>	文化課

歴史関連施設の整備・活用

施策・事業名	事業概要	関係課
上淀廃寺跡保存整備事業	<p>これまでの整備で残されている史跡の追加指定地について、説明板の設置などの整備を行います。</p> <p>また、学術的な面ばかりではなく学校教育や生涯学習、観光面での利活用に努めます。</p>	文化課
向山古墳群整備事業	<p>園路の整備、解説板の設置などを行い、伯耆古代の丘公園、上淀白鳳の丘展示館、上淀廃寺跡など、周辺の史跡や施設との一体的な利活用を図ります。</p>	文化課
山陰歴史館整備事業	<p>米子市の歴史館として、よなごの通史を学ぶことができ、城山のガイドンスや、下町散策の拠点施設として機能するよう整備します。</p> <p>また、山陰歴史館のある米子市役所旧館は、昭和5年（1930年）に建築されたもので、建設から80年以上経過しており建物の老朽化が進んでいることから、市指定文化財としての保護・保全を行います。</p>	文化課
埋蔵文化財保存活用事業	<p>埋蔵文化センターや福市考古資料館においては、遺跡めぐりの実施、考古学講座の開催及び土器づくり・勾玉づくりなどの体験講座を開催します。</p> <p>また、学校への出前授業、公民館等への出前講座を実施します。</p>	文化課
米子城跡整備事業	<p>米子城跡の計画的な保存・整備に努めるとともに、中心市街地にある貴重な都市空間として歴史学習の場を始め、市民への憩いや安らぎの提供、様々なイベントの実施など多目的な利活用にも対応できる史跡公園としての整備を進めます。</p>	文化課

(3) 文化情報ネットワークの充実

各文化施設が保有する歴史や文化に関する情報を整備し、情報発信するとともに市のホームページなど情報提供サイトの充実に努め、利用者の利便性の向上を図ります。

文化関係情報の充実

施策・事業名	事業概要	関係課
文化芸術関連施設等の情報提供サイトの充実	前期計画期間にデジタル化した資料を活用し、史跡や歴史関連施設等の本市の文化関連施設のホームページで収蔵資料を紹介するなど、情報提供サイトの充実に努めます。	文化課 生涯学習課

情報検索機能の充実

施策・事業名	事業概要	関係課
米子市ホームページの充実	市のホームページから、史跡や歴史関連施設等の本市の文化関連施設のホームページの閲覧や文化芸術に関する情報の検索などが容易に出来るよう、情報提供サイトの充実に努めます。	文化課 生涯学習課

第4章 後期計画の推進に向けて

本計画を推進していくためには、行政、市民、文化芸術団体、教育機関など、文化芸術に関わる様々な主体が、それぞれの役割や責任を認識しながら、相互に連携し協働していくことが重要です。

中でも行政は、その地域の特性に応じた施策を策定し実施することにより、文化芸術の主体である市民の文化活動を支援し、文化創造のための環境整備に努めることにあります。

また、文化関連事業は、人づくりのための環境整備事業であり、その特性から、長期的・計画的な視野で継続性を重視しながら計画の推進に取り組んでいく必要があります。そして、文化施設の整備・活用に関しては、文化部門以外に、まちづくりや観光など関連部門との連携が重要となることから、庁内において関係各課相互の連携を図りながら計画の推進に努めることとします。